

考古学研究会関西例会 第 239 回研究会のご案内

初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、考古学研究会関西例会では、第 239 回研究会（奈良例会）を下記の要領で開催いたします。今回は弥生時代中期の墓群構造に関する研究と、西大寺弥勒金堂跡の発掘調査成果についての報告となります。皆様奮ってご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

日 時：10/7（土）13:00～16:20 奈良例会

会 場：奈良市生涯学習センター3F 学習室1・2

交 通：JR 奈良駅より徒歩 10 分

資料代：会員 300 円、非会員 500 円

13:00～14:30 研究報告：蓮井寛子氏（奈良県立橿原考古学研究所）

「弥生時代中期の大規模集落における墓群構造の検討」

〈休憩 20 分〉

14:50～16:20 調査報告：田中龍一氏（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）

「西大寺弥勒金堂跡の発掘調査成果—姿を現した二つ目の金堂—」



【連絡先】

考古学研究会関西例会・事務局
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部歴史学科考古学研究室
Email reikai.online@gmail.com